

【教科名】 技術家庭

(1) 目指すもの

中学

生活と技術について実習、実験、製作、体験、課題、レポート作成などを通して様々な角度から学び、学習内容を習得することを目指す。その過程で、安全への配慮、内容の理解を深め、丁寧に取り組む力、考え工夫する力、応用力、想像力も合わせて養う。

高校

人の一生と家族や家庭生活のあり方、乳幼児と高齢者の生活と福祉、食生活、住生活、消費生活などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、独り立ちを目指し、男女が協力して家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

(2) 授業の進め方

中学

- ①知識の定着にとどまらず、実習、実験、製作、体験、課題、調べ学習、レポート作成などを通じて総合的に学べるようにする。
- ②基本を中心に繰り返し技術の習得を行い、生徒が実習、作業に自信を持って取り組めるようにする。

高校

- ①家族・家庭、高齢者や幼児の生活と福祉では、課題学習を通してより学べるようにする。
- ②授業での調理実習に加え、家庭での基礎練習や調理実習の復習課題を通して、より技能の定着を図っている。
- ③消費生活、家族法、契約など社会人として生活していく上で必要な知識など学び授業を展開する。
- ④タブレットを随時使う。検索をしながら、家庭分野の現状を学ぶ。またロイロノートを使いながら、発表などに使う。

(3) 使用教材について

中学

教科書「New・技術・家庭 技術分野・家庭分野」(教育図書)

高校

高2

教科書「Survive!!」(教育図書)

資料集「最新生活ハンドブック」(第一学習社)

高3

教科書「[Survive!!」(教育図書)

資料集「最新生活ハンドブック」(第一学習社)

「楽しく学べるマナーの基本」(教育図書)

【教科名】技術家庭

最終到達目標			① 生活に必要な基礎知識と技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深める。 ② 自ら生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を身につける。 ③ 一人の生活者として様々な場面で技術や知識を適切に活用する力を身につける。		
ST	学年	コース	授業目標	授業ポイント	使用教材
第1ステージ	中学1年		身の周りにある製品に着目し、ものづくりの技術の原理やしぐみを学ぶ。また、現代の技術について学び、これからの社会について考える。	材料と加工 生物育成 情報	「New・技術・家庭 技術分野」(教育図書)
	中学2年		当たり前を感じている生活や生活の中の技術、役割などに焦点を当て、興味関心の幅を広げる。体験、実習、レポートづくりなどを通して各分野の内容を知識の理解と定着をより図る。	衣生活 食生活	「New・技術・家庭 家庭分野」(教育図書)
第2ステージ	中学3年		2年時で学んだ内容を踏まえ、様々な分野により興味関心を持てるように知識と体験、実習、レポート作成などの作業の両面から深めていく。	衣生活 住生活 家庭生活・家族 食生活 消費生活と環境 情報 エネルギー変換	「New・技術・家庭 技術分野・家庭分野」(教育図書)
	高校1年		配置なし		
第3ステージ	高校2年		人の一生と家族や家庭生活のあり方、乳幼児と高齢者の生活と福祉、食生活、消費生活などに関する基礎的な知識と技術の習得をめざし、男女が協力して家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	家族、ライフコース 高齢社会 保育 (ボランティア) 労働法 消費生活 家計 食生活 住生活	教科書「Survive!!」 (教育図書) 資料集「最新生活ハンドブック」(第一学習社)
	高校3年	理	配置なし		
		文	配置なし		
		推薦	家庭基礎で学んだ内容をさらに深く学習する。	衣生活 食生活 共生社会	教科書「Survive!!」 (教育図書) 資料集「最新生活ハンドブック」(第一学習社) 「楽しく学べるマナーの基本」(東京書籍)

【学年】 中学 1 年 【教科名】 技術・家庭科 【科目名】 技術 【単位数】 2 時間

年間指導 目標	身近な技術に目を向け、ものづくりにおける基本的な知識と技術を実習等を通じて学び、課題解決の方法を身につける。
------------	--

学期	時期	使用教材	単元 (章)	学習内容
1 学期	中間 期末	「New・技術・家庭 技術分野」(教育図書)	情報に関する技術 材料と加工に関する技術	情報モラル 立体パズル製作
2 学期	中間 期末	「New・技術・家庭 技術分野」(教育図書)	材料と加工に関する技術 生物育成に関する技術	立体パズル製作 木製品製作 栽培レポート
3 学期	学 年 末	「New・技術・家庭 技術分野」(教育図書)	材料と加工に関する技術 情報に関する技術	木製品製作 デジタル作品製作 プログラミングの基礎

【学年】 中学 2 年 【教科名】 技術家庭 【科目名】 技術家庭 【単位数】 2 時間

年間指導 目標	当たり前で過ごしている生活に焦点を当て、基本的な知識と技術を、実習等を通じて学びから生活を展望し、よりよい生活者となることを目指す。
------------	--

学期	時期	使用教材	単元 (章)	学習内容
1 学期	中間 期末	「New・技術・家庭 技術分野・家庭分 野」(教育図書)	衣生活	衣服の選択と手入れ、衣服の手入れ実習、 洗濯実習、小物製作
2 学期	中間 期末	「New・技術・家庭 技術分野・家庭分 野」(教育図書)	衣生活 食生活	被服製作 健康と食生活、栄養 調理の基礎 調理実習
3 学期	学 年 末	「New・技術・家庭 技術分野・家庭分 野」(教育図書)	衣生活 食生活	被服製作 食事摂取基準と献立

年間指導 目標	当たり前で過ごしている生活に焦点を当て、基本的な知識と技術を、実習等を通じて学びから生活を展望し、よりよい生活者となることをさらに目指す。
------------	---

学期	時期	使用教材	単元（章）	学習内容
1 学期	中間 期末	「新・技術家庭 技術分野・家庭分 野」 (教育図書)	衣生活 食生活 住生活 消費生活 情報 エネルギー変換	被服製作 食品衛生、調理実習 住まいの働き、住まい方、室内環境、家 庭内事故、災害に備えて、住まいの安全 レポート わたしたちの消費生活 買い物、消費者トラブル、権利と責任 情報の技術 電気回路のしくみ
2 学期	中間 期末	「新・技術家庭 技術分野・家庭分 野」 (教育図書)	家族 食生活 情報 エネルギー変換	幼児の生活と家族 調理と食文化、食品の選択と購入、調理 法基礎 2、調理実習、調理実習レポート 情報の技術 電気回路のしくみ 発電方式についてのレポート
3 学期	学 年 末	「新・技術家庭 技術分野・家庭分 野」 (教育図書)	家族 消費者の権利と責 任情報 エネルギー変換	幼児のための絵本の製作、レポート 消費生活と環境、レポート フローチャート プログラミングの基礎 動力を伝達するしくみ 自転車の保守・点検

年間指導目標	人の一生と家族のあり方、乳幼児と高齢者の生活と福祉、食生活、衣生活、消費生活などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、ひとり立ちをめざして、その能力と実践的な態度を育てる。
--------	--

学期	時期	使用教材	単元（章）	学習内容
1 学期	中間 期末	教科書 「Survive!!」 (教育図書) 資料集 「最新生活ハンドブック」 (第一学習社)	1 家庭とライフコース 2 保育 3 高齢社会 4 食生活 5 体験ボランティア	1 ライフステージ、家族法 2 保育 3 高齢者の心身の特徴、介護制度 4 調理実習、食品衛生、包丁検定、生姜焼き定食 家で作る課題、調理実習のレポート 5 体験ボランティアの注意 夏休みの課題は体験ボランティア
2 学期	中間 期末	教科書 資料集 1 学期と同じ	6 食生活 7 消費生活 8 労働法	6 栄養と食品、調理実習、食品衛生、食の改善（お弁当新聞を作成） 7 契約、消費者法 8 労働法
3 学期	学 年 末	教科書 資料集 1 学期と同じ	9 住生活 10 家計	9 家探しと間取り 10 家計、クレジットの仕組み、金利、多重債務

年間指導目標	家庭基礎で学んだ内容をさらに深く学習する。被服実習、調理実習、ボランティア、住居を学ぶ。
--------	--

学期	時期	使用教材	単元（章）	学習内容
1 学期	中間	教科書 「Survive!!」 (教育図書)	衣生活 被服実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被服製作を通して被服実習の基本的な知識と技術を習得する。 ・ 身の回りの作品を製作する。
	期末	資料集 「最新生活ハンドブック」 (第一学習社)	被服実習の続き マナーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被服製作を通して被服実習の基本的な知識と技術を習得する。 ・ 身の回りの作品を製作する。 ・ 衣生活の基本
2 学期	中間		食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品衛生、食品加工、調理技術
	期末		衣生活 共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習 ・ 被服材料、実験、実習 ・ 発展学習
3 学期		授業なし		